

地球温暖化対策実行計画 対策の取組状況

5つの柱	目標を達成するための対策					取組状況
	番号	内容	具体的な対策の内容	新規・継続・拡充	詳細・ねらい	
1 地球温暖化防止を推進するための基盤の構築	1-1	市民・事業者・市の参画と協働による条例制定	地球温暖化対策のための条例制定の検討	新規	地球温暖化対策の基本方針の明確化	宝塚市再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例・宝塚エネルギー2050ビジョンに基づき、施策を推進
					各主体の役割と削減目標の明確化	宝塚エネルギー2050ビジョンに基づき、進捗管理を実施
	1-2	地球温暖化抑制に貢献する人づくり	環境教育・学習を推進する人材の育成	継続 拡充	環境リーダー入門講座（現：ECO講座）の実施と環境リーダーの活躍の場の検討	たからづかECO講座を継続して開催 環境マイスターを認定、マイスター講座を開催
					市民ボランティアとの協働による小学生への環境学習の実施	温暖化防止教育を広める会による小中学校への温暖化防止学習の実施
	1-3	地球温暖化対策の推進のための情報交流の場の提供（設置）	緑を増やす人材の育成	継続	緑化リーダーの養成	緑化モデル地区指定団体（110団体）を登録、花苗の提供等の支援
			市民参加型のイベントの実施	継続	市民環境フォーラムの実施（小学生や活動団体の環境活動の発表、市長と小学生による「こども環境会議」など）	市民環境フォーラムに実施
			環境に配慮した活動の支援等	継続	地域緑化モデル地区を設定し、地域住民の積極的な緑化運動を推進	緑化推進の拠点として、ボランティアによる運営の安倉フラワーガーデンを設置
	2-1	インターネットを活用した情報の充実	自治会、まちづくり協議会などコミュニティを中心とした活動の支援	継続	-	市が事務局となり、環境保健衛生大会を開催
			ホームページを活用した情報発信の充実	拡充	行政の情報だけでなく、市民・事業者・NPOなどの活動の情報などの情報発信	facebookを活用した温暖化対策の取組の関連情報発信
家庭での排出量や削減対策に対する効果の“見える化”			新規	市民の取り組みを募集し、家庭の排出量の実態や対策を調査・分析し、公表 市民・事業者へ環境家計簿などを配布して各自が削減目標を設定、集計し、市の目標値として公表	市域における家庭からの温室効果ガス排出量総量を、毎年、「宝塚の環境」にて前々年度の数値を公表 家庭における省エネの促進を図るため、平成30年度に国庫補助金を活用し、「地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業」を実施する中で、うちエコ診断を紹介する番組を制作、放送することで受診の促進を図った	
2-2	市民・事業者にわかりやすい情報の提供	広報・啓発冊子、ホームページ等による意識啓発、情報発信	継続	広報誌「広報たからづか」での地球温暖化に関係する市の排出量や施策などの情報の公表	広報誌やHP、市内自治会の会報誌（Myたからづか）で情報提供を図った。	
				ホームページ「たからづかKIDS」での子どもを対象に地球温暖化の現状や対策の情報の公表	地球温暖化、エネルギー、生物多様性、ごみ、リサイクルについて内容を更新して掲載	

5つの柱	目標を達成するための対策					取組状況
	番号	内容	具体的な対策の内容	新規・継続・拡充	詳細・ねらい	
2 市民・事業者の省CO2のための行動促進	2-3	環境教育、環境学習の推進 (エネルギー教育、食育)	環境教育・学習を推進する環境教育・学習活動の支援	継続 拡充	夏至の日を対象にしたキャンドルナイトの開催	夏至の日から七夕までを期間とし、市公共施設を中心としたライトダウンキャンペーンの実施
					「出前講座」に地球温暖化防止に関するメニューを追加	「出前講座」のメニューに「地球温暖化の防止」、「みんなでつくろう宝塚エネルギー」を掲載
					受講対象を子どもに拡大した環境教育の支援	小学校で市内の環境団体が実施する環境学習を機材貸し出し等により支援
			環境を意識した食生活の推進	継続	食育についての講演や料理教室などのイベント参加	エコッキング、食育フェアの開催
					「宝塚西谷の森公園」等における田植え体験、稲刈りと稲木づくり体験	学校授業での田植え体験の実施
	2-4	市の優先的な対策の推進	事務事業における優先した地球温暖化対策の推進	継続	環境マネジメントシステムの運用による省エネルギー、省資源の推進	ECOオフィスプランに基づき、環境マネジメントシステムを運用し、各事務事業における省エネ・省資源に努めている
			公共施設の省CO2化の推進	継続	省エネルギー診断を活用した高効率設備の導入、ESCO事業の実施	宝塚市立スポーツセンターに2010年に導入
			公共施設への太陽光発電設備の導入	継続	公共施設への太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備の導入件数：22件（出力1kW以上）
			次世代自動車の導入	継続	天然ガス自動車、電気自動車、ハイブリッド自動車の導入	ハイブリッド車 4台 電気自動車 2台
			街路灯の高効率化の推進	継続	街路灯をLED照明に転換	市内の街路灯の99%をLED化
			日常生活における省CO2のための行動の情報の提供	新規	市民の日常生活における省CO2のための行動の効果、方法などに関する情報を提供	平成28～30年度にかけて、国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、環境省補助金（二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金）を活用して、「地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業」を実施した。事業を通じて、啓発番組（テレビ、ラジオ）の制作、啓発チラシの作成及び市内への配布、イベントや講演会の実施などを通じて、省エネ意識の啓発を図った
			設備の省CO2化の優遇措置の導入支援	新規	空調設備及び給湯設備等エネルギー多消費設備の高効率化に対する導入支援	平成28年度から省エネルギー給湯機買替助成金制度を設置し、エコキュート、エネファームへの設備更新に対して助成している（1万円/件）

5つの柱	目標を達成するための対策					取組状況
	番 号	内 容	具体的な対策の内容	新規・継続・拡充	詳細・ねらい	
	2-5	市民・事業者の省CO ₂ のための行動への支援	環境にやさしい通勤への協力のはたらきかけ	新規	事業者に対して自動車通勤の自粛をはたらきかけ	市のHPにて「エコ通勤」を呼びかけている
			地球温暖化抑制の取り組みに対する評価制度の検討	新規	市民の取り組みに対する顕彰制度など活動を評価する制度の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・「探せ！宝塚で一番古い冷蔵庫！！」の実施 ・「省エネチャレンジだからつか」の実施
			建築物の省CO ₂ 化に対する優遇措置の検討	新規	建築物の新築や増改築の際に市民や事業者の削減意識を活用し、断熱工事など省CO ₂ のための住宅に対する税制の優遇措置を検討	宝塚市住宅リフォーム補助金を実施し、全申請（15件）中、1件が省エネに関する工事（断熱工事）に対する補助（2018年度）
			ノーマイカーデーの実施	継続	開発まちづくり条例による開発ガイドライン 7-1 環境への配慮に規定する「環境配慮検討報告」による、省エネルギー設備の設置等を働きかけ	—
	3-1	交通ネットワークの充実	効率的な自動車道路網の整備	継続	「公共交通総合連携計画」に基づく公共交通サービスとしての路線バスを含む公共交通網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通総合連携計画に基づき検証を行っていた各種整備プログラムを成案化し、準備整備していく段階 ・北部地域まちづくり構想と整合した西谷地区のバス路線再編の検討を今後着手 ・月見山・長寿カ丘地区のコミュニティバスの運行 ・仁川山手地区及び売布山手地区における路線・ダイヤの見直し検討に今後着手
					都市計画道路や主要な市道などで構成する道路網の計画的な整備の推進	
	3-2	次世代自動車のための交通環境整備の促進	次世代自動車のインフラ整備	新規	電気自動車の普及に向けて充電スタンドの設置を国、県に要請	電気自動車充電スタンド 市内17カ所
			次世代自動車の駐車場における優遇措置	新規	市営駐車場などで次世代自動車の駐車に対する優遇措置の検討	—

5つの柱	目標を達成するための対策					取組状況
	番号	内容	具体的な対策の内容	新規・継続・拡充	詳細・ねらい	
3 地域環境の整備	3-3	自転車や公共交通機関の利用の促進	自転車利用環境の整備	新規	駅や商業施設周辺の駐輪場の計画的な整備、拡大	鉄道駅周辺に自転車・原動機付自転車（一部自動二輪可）が利用できる有料駐車場（駐輪場）を設置
					鉄道への自転車の持ち込みや自動車と公共交通機関の乗り継ぎの優遇措置	自転車の通行空間の整備や安全対策の考え方を定めた自転車ネットワーク計画を策定中である。車道において自転車レーンを順次整備している
					自転車通勤の推進（エコ通勤の推進）	自転車の安全利用に関する条例の制定
					歩行者と自転車の円滑な相互利用を図るネットワークの形成を検討	自転車の通行区分を教え、自転車・歩行者それぞれの安全を啓発している
			（再掲）ノーマイカーデーの実施	継続	自動車利用から電車やバスなどの公共交通機関利用への転換を促進	平成30年度に国庫補助金を活用し、「公共交通機関宝塚マップ」を作成した。マップは公共施設の窓口などに設置し、公共交通機関の利用促進を図った
	3-4	市街地における緑地の拡大	市民参加型の緑地の保全の支援	新規	「北雲雀きすきの森」に代表される市民参加型の緑地保全を支援	「北雲雀きすきの森」における市と地域コミュニティ環境部会によめ管理協定の締結、ボランティアグループによる森林保全活動
			宅地等の緑化推進	拡充	生垣等緑化推進等助成金制度の活用による緑化の推進	生垣等緑化推進助成金の交付
					みどりのカーテンの普及促進	市本庁舎のみどりのカーテンの実施も実施。また、緑のカーテンに取り組んだ市民・団体、学校・園、事業者を対象に「緑のカーテンコンテスト」の実施。
					開発まちづくり条例による開発ガイドライン7-1 環境への配慮に規定する「環境配慮検討報告」による、宅地等の緑化の推進	開発まちづくり条例による開発ガイドラインに基づく、民有地緑化の指導
			市民緑地、市民公園の整備		平成27年に「北雲雀きすきの森」を公演として制定	
	3-5	森林や農地などの保全	北部地域の自然環境の保全	継続	武田尾溪谷に代表される「自然豊かな環境」の保全（「生物多様性」の保全）による吸収源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・たからづかE C Q講座での観察や保全活動の体験を通して、自然環境の保全を支援 ・北部地域の生物生態系調査の実施
			農地の保全（花き・植木や農作物）	継続	伝統と技術を継承している「花き・植木」を活用した緑地の推進	宝塚植木まつり、宝塚オープンガーデンコンテストの実施
農業振興にも資する地産地消の推進					<ul style="list-style-type: none"> ・西谷産農作物の学校給食での使用 ・市街化調整区域への店舗出店の緩和（地産地消レストラン、地域物産の販売店舗） 	
		市民農園の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園におけるソーラーシェアリングの実施 ・ソーラーシェアリングによる農作物の栽培及びそのブランド化 			

5つの柱	目標を達成するための対策					取組状況
	番号	内容	具体的な対策の内容	新規・継続・拡充	詳細・ねらい	
4 再生可能エネルギーの利用促進	4-1	地域性を活かした再生可能エネルギーの導入促進	再生可能エネルギーの導入促進を図る仕組みづくり	新規	導入のためのアクションプランの策定	<ul style="list-style-type: none"> 「宝塚エネルギー2050ビジョン」の策定 「宝塚市再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例」の制定
					再生可能エネルギーの普及に市民が参加できる仕組みづくり	再生可能エネルギーについての市民啓発事業にのべ2,669人が参加
			市民や事業者の太陽光発電設備の導入支援	新規	戸建・集合住宅・ビルなどに対する太陽光発電設備の導入支援	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー相談窓口運営事業（平成26年度）【実績：26件】 市民発電所設置モデル事業（平成27年度）【実績：1件】 既築集合住宅再生可能エネルギー設備設置導入支援事業（平成27年度～）【実績：1件】 小規模事業用太陽光発電設備に係る固定資産税（償却資産）の課税免除制度（平成27～29年度）【実績：10件】 事業用太陽熱利用システム導入支援助成金（平成28～30年度）【実績：0件】
			太陽光発電以外の再生可能エネルギーの利用	新規	地域的条件にあった再生可能エネルギー（バイオマスなど）の利用の可能性を検討	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に再生可能エネルギー導入可能性調査事業において、小水力発電可能性調査を実施し、市内の河川や上下水道施設などにおける設備の導入可能性について調査した 平成28年に実施した「木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業」の調査結果に基づき、央公民館において、木質資源を燃料とするペレットストーブを導入した 令和元年度11月より「地域循環共生圏づくりに向けた家畜糞尿活用によるバイオガス発電設備導入可能性調査」を実施中
			再生可能エネルギーの技術開発の進展に応じた効果的な活用	新規	再生可能エネルギーを含むエネルギーの効果的な利活用方策の研究	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に経済産業省補助金（地産地消型再生エネルギー的利用等推進事業費補助金）を活用して、「宝塚市における地産地消型エネルギーマネジメントサービス事業化可能性調査」を共同申請者として実施し、地元事業者の参画等による地域新電力事業のシステム構成や事業内容に係る調査検討を行った セミナー「ソーラーシェアリングをみんなで考えるin西谷」（（西谷ソーラーシェアリング協会と共催）を開催し、ソーラーシェアリングの現状や動向を知り、ソーラーシェアリングが拡大しつつある西谷地区における今後の展望について考えた
			（再掲）公共施設への太陽光発電設備の導入	継続	公共施設への太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備の導入件数：22件（出力1kW以上）

5つの柱	目標を達成するための対策					取組状況
	番号	内容	具体的な対策の内容	新規・継続・拡充	詳細・ねらい	
5 循環型社会の形成	5-1	「一般廃棄物処理基本計画」に基づくごみ減量化・資源化の推進	事業所における紙ごみ減量化・資源化支援	継続	事業所からの発生割合が大きい紙ごみに対して減量化・資源化のマニュアルを配布し、その取り組みを支援	紙ごみを含めてごみの分別等について、平成27年度末に事業所向けパンフレットを作成し、配布
			生ごみ資源化の推進	継続	家庭における生ごみ減量実践マニュアルを作成し、生ごみ堆肥化を推進	堆肥化を推進するため、ごみ減量化・資源化啓発センター内に段ボールコンポストを展示
					継続した生ごみ堆肥化の事例研究と補助事業を行い、生ごみ堆肥の拠点回収と利用を促進	—
			生ごみ堆肥化容器（コンポスト）普及	継続	ホームページを利用した生ごみ堆肥化容器（コンポスト）に関する良質な、堆肥の作成方法や効率的な生ごみ堆肥化の活用情報を提供	コンポストの有償斡旋を以前行っていたが、申込件数減により、斡旋価格よりも量販店で買った方が安価で手に入るため、斡旋を行っていない。しかし、堆肥の作り方や活用方法などの情報については、ごみ減量化・資源化啓発センター内に掲示し、啓発している
			生ごみ処理機購入費助成金交付制度	継続	現行の生ごみ処理機助成金交付制度の効果を検証し制度の継続を検討	電気式生ごみ処理機については電力を使用するので環境負荷が多く、助成金制度を行っていない
			市民のリサイクル活動への支援	継続	地域や各種団体によって自主的に行うフリーマーケットや廃食油等のリサイクル活動を支援	クリーンセンター内の一角を消費者協会宝塚に提供。廃食油のリサイクルとして石けんを作る活動を行っている
			買い物袋持参運動の推進	継続	買い物袋持参率向上を目的とした関係機関や関係団体との連携による定期的なキャンペーン（ノーレジ袋デー）を実施	—
					買い物袋普及を重点に消費者団体等の各種団体を通じて協力を依頼	—
					消費者の買い物袋持参意識を高める制度としてエコバッグの使用（レジ袋不要）に対するポイント制度やレジ袋有料制度など買い物袋持参の優位性を市民向けパンフレットなどで情報提供	レジ袋削減の協定を消費者団体、商工会議所、商店連合会と締結
			ごみ減量、リサイクルに関するマニュアルの配布	継続	ごみ排出事業所を対象にごみ減量、リサイクルに関するマニュアルを配布し意識啓発と実践を促進	平成27年度末に事業所向けパンフレットを作成し、配布した
			ごみ減量化・再資源化推進宣言の店（スリム・リサイクル宣言の店）の拡大	継続	再生品の使用と販売、簡易包装の推進等に取り組む参加店舗や事業所の一覧を作成	—
					参加事業者は市民向けパンフレットやホームページに掲載し、優良店を顕彰	—
			事業系ごみの分別搬入の指導	継続	許可業者や一般事業者に対する分別搬入の徹底を指導	許可業者や一般事業者に対する分別搬入の徹底を指導した
					資源ごみの分別搬入に対する処理手数料の軽減措置を検討	—
プラスチック類のごみ分別に対する収集資源化	継続	プラスチック類のごみ分別収集と資源化を行いプラスチック類のごみ燃焼に伴うCO ₂ 排出を抑制	実施済み			
緑のリサイクル	継続	剪定枝の個別収集実施による資源化を推進	実施済み			